

# 緑ヶ丘だより



## 平成30年度がスタート

緑ヶ丘地区自治会連合会長 小野 忠信

緑ヶ丘南自治会 会長 216世帯

30年後までの震度6弱以上の発災確率が国から発表になりました。それによりますと、横浜では82%の確率とのことです。

もう20年以上前に発表になった時には30年以内に70%の確率でした。より一層大地震の発災が近づいてきているようですので大変不気味です。

さて、発災に備えて皆さまのお宅では準備されていらっしゃるでしょうか？

座間市の危機管理課により、各家庭では水と食料を、家族の使用量の一週間分を備蓄するようにと指導されております。

万が一被災しても避難場所が開設されるには、早くても約3日かかるそうです。

まず自分たちで、自分たち家族の身を守り生活できるよう準備しておきましょう。

緑ヶ丘自治会連合会では、昨年より広域避難場所である座間中学校をお借りして、避難場所開設訓練を実施しております。今年も11月11日（日）に実施する予定です。

避難所はどうなっているのか、何をやってくれるのか、ご自分たちの目では是非ご確認いただきたいと思います。ご家族でご参加くださいますようお知らせいたします。

また、市民レクリエーションを10月7日（日）に開催します。地域の方々と友好と絆をより強く深めて頂きたいと思います。今年は実行委員会からの要望もあり、景品に地元産の野菜をご用意するべく準備を進めております。こちらも楽しみにご参加ください。

残念ながら、昨年は地域内で大変悲惨な事件がありました。自治会では青色パトロール車を利用したり、また歩きながらの防犯パトロールを実施しております。自分たちで、自分の暮らす地域を、住みやすい安心・安全な街にして参りたいと思いますので皆さんも是非お力をお貸しください。



発行 平成30年7月

座間市緑ヶ丘地区自治会連合会

災害時避難行動要支援者支援について  
地区自連副会長 森 繁

災害時避難行動要支援者支援について平成29年度に登録されている方は緑ヶ丘地区では48名いらっしゃいます。6月には新しい登録者名簿が新自治会長に届くことになっており、新しいステージが展開されようとしています。これまでの流れを整理すると、市としては、

第1ステージとして登録された方が何処に住まわれているかを知って頂きたいと言っています。

第2ステージとして見守り訪問を受けるかどうかを尋ね集約しております。（登録されている方でも平時の訪問をお断りする方がいます）

第3ステージとして訪問希望者への見守り活動を開始する。今後見守りを希望する方への具体的な支援体制が求められます。

各自治会で話し合って進めていきましょう。

第4ステージとしては高齢者等の方で要支援に該当する方への登録の呼びかけをする。

地域の身近な人々によるコミュニケーションで安心の街づくりを進めましょう。

登録申込先：座間市福祉部

・福祉長寿課 046-252-7127

・障がい福祉課 046-252-7978

## 30年度役員

役職名	氏名	所属自治会	会員数
代表理事	小野 忠信	緑ヶ丘南	
専任理事	森 繁	緑ヶ丘南	
会長	小野 忠信	緑ヶ丘南	216
副会長	森 繁	緑ヶ丘南	
書記	安藤 公友	相武台緑ヶ丘	93
会計	柴尾 一也	さつき	173
会計監査	田野口勝彦	新緑ヶ丘	127
会計監査	漢那 弘美	わかば	22
幹事(防犯)	須藤 恒平	小田急相武台南	114
幹事(防災)	木場 貞成	第一住宅相武台団地	169
幹事(防災)	高木 一徳	緑ヶ丘中央	221
幹事(広報)	大塚 幸伸	緑ヶ丘六丁目	179
		合計	1,314

防災減災知識の啓発予定 座間市

体験型減災・災害対応訓練 9月29日（土）

対象：市民・避難所運営委員 9:30~12

会場：市役所、内容：体験型訓練

## 自治会活動の原点

93世帯

相武台緑ヶ丘自治会 会長 安藤公友

昔の大家族時代は、家族が皆で子育て・介護等を担っていましたが、戦後、核家族の時代になり、高齢化に伴い、介護等を子供に頼れる人は少なくなり、社会福祉施設に入るか2(1)人暮らしを余儀なくされているのが現状です。このような時代になれば、高齢者世帯の生活においては、自助努力にも限界があり、否応なしに共助(ご近所・自治会等)の必要性が増してまいります。座間市では65歳以上の世帯割合が25%を超えておりますが、当自治会でも、高齢者世帯・1人暮らしが多く、限界集落の様相です。向う3棟両隣りの精神でご近所が助け合うと言つても限界があります。近年は個人生活に対する干渉を嫌う風潮ですが、自治会としてどの様な共助に対応できるかを考える必要があると思われます。29年度の座間市の高齢者に関する調査結果で、日常生活で高齢者が手伝ってほしいことの項目と、手助けできる人の数が公表されています。5位は「電球の取り換え」で2030名が要望し、手助けできる人が3453名です。こんなささいな事と思われますが高齢者世帯では切実な要望なのでしょう。特に、公的補助が受けられない比較的お元気な1人暮らしの方が身近な共助を必要としているのではないでしょうか。調査では手助けできると多くの人が回答しているように、この精神こそが共助そのものだと思います。生活自体に係る要望は無理としても、少なからず自治会活動として支援できる共助があると思われます。潜在的な要望を具体的に把握し、ご近所さん・自治会の絆の力を發揮していきたいものです。こんな助け合いこそが自治会活動の原点だと私は思います。



みんなの自治会 114世帯  
小田急相武台南自治会 会長 須藤恒平

これまで私の自治会活動は親に任せっぱなしで、せめてもの罪滅ぼしにと美化デーで労働奉仕するくらいでした。今回輪番で高齢の親に代わり自治会運営に参加する事となり、つい会長職を引き受けてしまいました。ある程度の事務作業は覚悟していましたが、前会長から引き継いだ詳細且つ膨大な資料を目の当たりにして事の重大さを思い知らされました。

自分たちが住む地域の事をお互いが助け合いより良くする事に意義を唱える人はいないでしょう。意見交換を通して地域の雰囲気が良くなればそれだけ地域価値も上がり、いい事尽くめである筈なのに、どうして近年自治会加入者が減っていくのでしょうか。共働きの家庭、単身者、高齢の家庭が増え、週末の会議に出られない、地域活動に労力として参加できない等の理由で加入を断念する、来年度は自分に役員が回ってくることをきっかけにお辞めになる方もいらっしゃるとか。

住民がお互いに一步譲り共存する地域を作る事こそが自治会の役目。それには様々な形態の家庭のみなさんの意見が必要不可欠です。

自治会加入者と非加入者とで心の溝ができる事など以外の外。また災害時の対応等近年自治会の社会的役割は増しています。必要最低限の情報を共有し、多くの方から意見を伺い、誰もが参加できる自治会でなければならぬと考えます。

今の環境に合った自治会のスマート化も視野に入れて任期を務めたいと考えます。

さつき自治会と私の課題 173世帯  
さつき自治会 会長 紫尾一也

会長2期目となりました。想定外ですが、2期目の強みを生かして全うしたいと考え、今年度課題として3点掲げます。

### 1: 集会所改修の完了

昨年度から準備している改修工事は、今年度着工に向けて各所調整中です。設計詳細の決定、増える関係者との打合せ、提出や記録など各種書類の準備等漏れがないよう注意して進めるよう努めます。

2: 自治会組織改編に向けた意思統一と準備自治会役員の後任選定が難航する話はどの自治会にもあると思いますが、当自治会では班編成を見直すことで打開できないかと考えています。昨年度総会にて方向性は出たものの具体的な手続きや注意点の議論は今年度行います。班編成変更の確定を含め、10月までには結論を出したい話題です。

### 3: 自治会業務(役務)の簡素化と定型化

会長に限らず、役員の後任選定も難航しますが、原因の一つは「やる事多すぎ」なところです。「業務マニュアル化」が数年前からの役員会内で話題に挙がっており、この際すべて文書化してしまい、「ここを見たら進め方が分かる」状態まで持っていくことにします。どこまで進むかわかりませんが。

以上3点完了すれば今年は合格ということで関係者および会員皆様にご協力いただけますよう願っております。

自治会長になって 221世帯  
緑ヶ丘中央自治会 会長 高木 一徳

まさかと思いましたが、何故か、緑ヶ丘中央自治会の会長という重責を背負うことになってしまい、早3ヶ月が過ぎようとしています。右も左もわからないまま前任の方から慌ただしく業務を引き継ぎ、次々と提示される課題に追われているというのが正直なところです。

会社で何かの役割を引き継ぐ場合には、会社の仕事として引き継ぐので、時間もとれるし内容も前任者からマンツーマンで聞くことも出来ますが、自治会は個人のプライベートも尊重しながら、要点を絞って、出来るだけ相手の負担にならないように気を使わざるを得ません。そうすると自分自身で、引き継いだファイルや電子データから探して、実施する課題や事業のやり方を推測して進めて行かざるを得ず、手探り状態で必死に取り組んでいる状況と言っても過言ではありません。出来るだけ漏れのないように取り組んで行くために地区自連の諸先輩の方々にご迷惑とは思いつつ、細かいことをお伺いすることも度々あり、恐縮していますが、うるさがらずに引き続きご指導いただければ幸いです。

さて、これから、8月には「かにが沢公園盆踊り大会」、10月には「市民レク」、11月は「避難所開設訓練及び防災訓練」などの行事が予定されており、これらの活動への取り組みも始まりました。住民の親交、親睦や災害時の体制づくりに少しでも貢献出来るように皆様の協力を得ながら、努力して行きたいと思っています。

自治会活動無視、定年後はそうも  
いかず 169世帯  
第一住宅相武台団地自治会 会長 木場貞成

高度経済成長期に育った我々は、会社一筋人間であり、自宅にはただ寝に帰るだけで、住宅の周りでどんなことが起こっているのかあまり知らず、ただ仕事の事ばかりで、自治会があり、どんな事をやっているのかも全く知らない状態だった。しかし、自治会の役員は当番制で必ず回ってきたものの、その役は女房に任せて、役を逃れてきたが、ついに逃げ廻る理由もなくなり、自治会の役員を引き受けことになった。

たくさんの引継ぎ書類を見て、自治会の役員はいかに大変な役なのかが分かり、歴代の自治会の役員をやってこられた諸先輩方の苦労にただただ感謝するのみである。今までの

自治会活動を無視してきた罪滅ぼしも含め、これからこの大役をどう引き受けていくかが大問題であるが、引き受けた以上もう逃げ道はなく、全力を尽くして頑張っていくしかないようである。

有難いことに、やる気のある若手の役員仲間に恵まれ、先輩諸氏の努力のたまものを引き継いだため、やり易い環境が整っている。これからも地域住民の方々が暮らしやすい環境づくりをし、住民が安心で安全に暮らせるような地域の維持ができるように頑張っています。

住民の皆様のご協力をお願いしつつ、一つ一つの問題に対処していく覚悟でいますので、よろしくお願ひいたします。



防犯、減災への取組み 127世帯  
新緑ヶ丘自治会 会長 田野口勝彦

新緑ヶ丘自治会は、座間市役所の南側に位置する、緑ヶ丘1丁目と2丁目の一部で組織する平成6年に発足した自治会です。

現在、8名の役員と12名の班長が中心となり、地域の美化活動や防犯・防災活動などの自治会活動を行っています。役員や班長の自宅には「安全・安心のまちづくり」をテーマに掲げたのぼり旗をたて、月に1回、防犯パトロールを輪番で実施している他、緑友会のメンバーが中心となり、通学児童の安全見守りパトロールを実施しています。このような取組みの効果か、空き巣や軽犯罪などの発生がほとんどなく、小さな子どもたちが元気に安心して公園や広場で遊ぶ姿を多く目にします。

また、パトロールの前に行う、非常用揚水ポンプや発電機の点検や試運転は、定例化してきており、公園で遊ぶ子どもたちも巻き込み、日頃の備えの大切さを浸透させてています。

さらに、年1回役員と班長で行う、防災訓練は、市消防本部や災害ボランティアネットワークの支援を受け、家具の転倒防止、ガラス飛散防止などの減災対策や消火器や消火栓(地域内に8か所設置)の活用方法、災害発生時の対応など毎年取組みを工夫しながら自治会員への意識啓発を進めています。

昨年実施した消火栓を利用しての消火訓練は、地域内にある消火栓の設備の説明や機材の取扱い、利用方法などの実施訓練を行い、参加者からは、「緊急時の活用に確かな手がたえを得た」などの声があがりました。

このように災害に備える準備や訓練をこれからも繰り返し行うことで、大災害が発生した時の対応が円滑に進むよう取り組んでまいりたいと考えております。

会員名簿の作製から 179世帯  
緑ヶ丘六丁目自治会 会長 大塚幸伸

6年前に高齢者（65歳）となり、副会長（会計）として町会デビューし次年度には、偶然にも立候補者がいなくて自治会長となり、在位4年目です。（5年やると表彰もの）

前回は、歩道での右側通行についての提案を書いたところですがどうされていますか？

我が自治会では、1年おきに自治会名簿を作成して各戸配付をしています。内容は班別に、氏名、夫人名、住所、電話番号、備考

（職業）です。名簿あっての自治会と理解しています。名簿に記載することを嫌がり、それを理由に自治会を辞めた方もいました。

これを作るに際し、家族全員の年齢も入れた個票があります。きちんと全部の項目に記載してくれる方が大部分ですが年齢、職業についての記載のない方も多少おられます。会長としては、危機管理に使える唯一のものと理解し、記入してもらいたいところです。

昨年から避難所開設訓練が始まり、今年も継続しての訓練を11月11日（日）に行います。これら危機管理に関連して、上記個票から、各班別に、年齢の世代別の集計をしてみました。一部に年齢の記入のない会員もいましたが次回に期待します。不明として処理。

集計項目としては、人数計（500弱）、不明、幼児、小学生1年から6学年別、中学生1から3学年別、高校1年から3学年別、大学生、大人としては、20代、30代、40代、50代、60代～64歳まで、65から70歳、71から80歳、81から90歳、91歳以上です。遅まきながらこれにより、人口の世代をどうにか把握でき、見える化することで、万一の災害時にも多少の対応可能となる基礎資料が一つ出来ました。

6月18日（月）朝の通勤時大阪北部地震、震度6弱の地震が発生しました。死者4名。ブロック塀による通学路等での死者発生。

平成30年度市民防災減災講座 7月7日（土）  
緊急地震速報の対応行動、発災から3分間の行動  
「地震！！」と大声を出し、周囲に知らせる  
火から離れる（間に合えば消す）  
各自が身を守る、絶対に「死なない！」  
子供を引き寄せてかばう。  
揺れに耐える、むやみに外に出ない2度目が。  
避難路を確保する。ドアに物をはさむ。  
シェイクアウトの安全行動  
「生き残らなければ、何も始まりません」  
①まず低く ②頭を守り ③動かない

わかばの季節 22世帯  
わかば自治会 会長 漢那弘美



本年度のわかば自治会会長を務めさせていただきます漢那弘美と申します。皆様のお力添えを頂きながらこれから的一年間精一杯務めさせて頂きたいと思います。まだ慣れない事や解らない事が多くて右往左往していますが、前会長の松尾さんの手をお借りし、煩わせて何とかやっています。

早6月、目に鮮やかなわかばの季節になりましたが日に日に陽射しが強くなってきております。今年は気候の乱れが激しくて3月に入ってからも雪が降りましたが次の日はコートも要らない暖かさでした。その暖かい日が続き桜も早く咲いて直ぐに満開になりました。

4月のかにが沢公園での桜祭りは桜吹雪の中でしたが、お天気に恵まれて沢山の人が集まりました。私もゴミ回収の係として参加させて頂きましたが、時間の空いた合間合間にイベントを見たり屋台を回ったりと、私も皆さんと一緒に楽しい1日を過ごさせて頂きました。

そして5月12日の自治会連合会の会合で自治会長研修会がひらかれて市民レクや防災についてのお話があり前年度の反省点を踏まえて改善策が話されました。

避難所運営チームも決まり私は救護班になりましたが、三角包帯を使った緊急処置等、遙か昔に受講した事のある普通救命講習会を思い起しながらもう一度勉強し直したいと思っています。4時間程の研修会でしたが有意義な時間でした。これから自治会の行事等も皆さんと協力しながら、ふれあいを大切にして楽しくやっていけるように微力ながら頑張っていきたいと思いますので宜しくおねがい致します。



発災から3時間の行動 一部

- ・ 我が家の被害の確認
- ・ 家にいる家族の安否確認
- ・ 家族など負傷者の応急手当
- ・ 漏水・ガス漏れの確認、電気ブレーカーを下げる
- ・ 自宅の出火の有無確認
- ・ 近隣の出火の有無確認
- ・ 出火の場合は大声で知らせ消火活動

参考 水1人1日3リットルの確保が必要、推奨7日分  
テレビはワイヤーで止める。飛んでくる  
タンスも補強。ドアをふさがない配置を  
ガラス類は100円ショップでのフィルムを張る  
各自枕の下に100円ショップでの懐中電灯を置いて  
2階の方が安全、地下部屋は危険  
足にガラス片が刺さったら抜かないで、治療を  
大震災時には首都にすべての救助が向かう